



～祝 50周年～

笹小だより No. 2

令和3年4月28日
横浜市立笹野台小学校

「今できることを・・・」

校長 飯田 雅人



新年度が始まってひと月が経ちました。子どもたちは、新しい学年になったことを意識して、学習や活動に意欲的に取り組んでいます。先日の朝会では、一昨年度の6年生が50周年のお祝いの記念歌を作ったり、昨年度の6年生が笹野台商店街のみなさんとコラボした企画を立て盛り上げていってくれたりしたことなどを伝えました。まるで50周年をお祝いする種をまいていってくれたかのように思います。そして今年度は、みんながそれをつないで種から出てきた芽を少しずつ育て、50周年のお祝いの花を咲かせる年であるとも話しました。どんな花を咲かせてくれるのかこれからが楽しみです。

早速ですが、5月31日（月）の創立記念式の中で、50周年実行委員の皆様にもご協力いただいて記念の航空写真を撮り、子どもたちみんなでお祝いのバルーンを上げる計画を立てています。詳細は、これから検討していきませんが、当日は青空のもとで、子どもたちと実行委員の皆様と一緒に素敵な創立記念式ができることを切に願っています。

さて、今年もコロナ禍で、引き続き学校生活や学校行事などに様々な制限がかかることが予想されます。今年度も今のところ、公共交通機関を使って校外に出かけることや、換気が十分できない室内における大人数での活動等を計画することは難しいと考えています。昨年度から、何事も今まで学校でできてきたことが今年もできることが当たり前ではなくなってきました。時には、子どもの健康や安全を第一に考え、急な変更もありうることをあらかじめ想定しておかなくてはなりません。今まで以上に直接体験をしたり、交流をしたりする機会は減ってしまうかもしれません。しかしながら、数少ない中でも、今まで以上に直接体験をしたり、交流をしたりする機会（例えば、昨年5年生が卒業式当日に式には参加できませんでしたが、前日の校庭でのお別れ集会で生演奏をして6年生を送り出したり、卒業式の予行練習に保護者席に座って参加して、その雰囲気是直接体験したりすることなど）があれば、その数少ない機会をいつも以上に大切に過ごさせてあげたいと思っています。できないからと簡単にあきらめるのではなく、みんなでアイデアを出し合い、今できることを工夫して考えていきます。そしてできたことに対しては、それを当たり前と考えるのではなく、みなさんのご協力のできたことと感謝する気持ちも忘れないでいたいものです。

先日は、上級生が温かいまなざしで見つめる中、校庭で「1年生を迎える会」を行うことができました。昨年度は、一斉臨時休校でできなかった会です。今年はみんなが揃って1年生を迎えることができ本当に良かったです。緊張しながら参加した1年生でしたが、入学式から1ヶ月の間に少しずつできるようになってきたことも増えてきました。子どもたちの成長は素晴らしいものです。本校の教育の柱であるペア学年での交流活動も、今後できることから進めていきたいと思っています。